

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、細江圏域） 第1回会議 議事録

|      |  |
|------|--|
| 開催日時 | 令和2年7月10日（金）10時から12時まで   |
| 参加者  | 委員：16人 事務局：8人 関係機関：10人   |
| 場 所  | 北区役所 31会議室   |
| 内 容  | <p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ<br/>浜松市社会福祉協議会北地区センター長</p> <p>3. プロローグ、これまでの協議体の流れについて<br/>浜松市社会福祉協議会北地区センター生活支援コーディネーター</p> <p>4. 自己紹介<br/>参加者名簿に記載の順に自己紹介（今年度から3名の新委員が選出、紹介する。）</p> <p>5. 会長、副会長の選任について<br/>会則第5条に基づき正副会長を選任</p> <p>6. 議 題<br/>新型コロナウイルス環境下での各地域における活動の様子と対応について<br/>（意見交換前の事前説明：生活支援コーディネーター）<br/>人と人との繋がりを大切に、地域で行われてきた活動を今後も途絶えさせることなく継続していくためにはどうしたらいいか、みなさんと一緒に考えていきたい。<br/>グループは3町バラバラに分けています。全体で45分。30分意見交換し、その後5分ずつAグループから発表し、全体で共有できたらと思う。<br/>（次第の資料 5ページ以降の説明）</p> |

## 各グループ発表

### (Aグループ)

コロナの感染予防対策で行事やイベントは中止となっているが、人との繋がりはなくしたくない。

浜名湖クリーン作戦や敬老会も中止になり、敬老会は記念品贈呈のみにした。

詐欺電話が多いので電話に出ない方も多く、安否確認にも苦労している。

回覧版なども安否確認に活かせるのではないか。

自宅に籠る生活が続く中、農業や散歩はできている。

### (Bグループ)

シニアクラブ：行事の実施はどこまでがセーフでどこからアウトなのか、判断材料が欲しい。

地区社協：今は様子見の状態。止めよう止めようは、もう止めよう。

民 協：会合は短縮や中止になっている。閉じこもりによる認知症の悪化を心配している。

自治会：会合では席を空けるなどの工夫をしている。

包 括：きっと心配な方が見つけられずにいるのではないかと思う。

そのような方を、地域の方で見つけていただきたい。

### (まとめ)

街中と旧引佐とでは対応も違う。

みんな、自分たちの身は守りながら、人と繋がる方法を考えていることがわかった。

### (Cグループ)

地区社協 会合では密にならないよう役員のみ出席にしている。地域様式をつくっていかなければ。

### (地区社協)

病院ボランティアも現在は活動が中止され、面会や見舞いも制限されている。

### (施 設)

障害者は受け入れなければならないが、来るかどうかは保護者の判断に任せている。

障害者の作業工賃は激減している。4月から新たな活動の場を設けたが、コロナの影響で、出だしからうまくいかない状態。

### (施 設)

ボランティアや慰問は中止にしている。7月1日から面会制限を外し、15分以内でOKに。デイサービスやショートステイ、配食サービスは通常通りだが、ボランティアの受け入れはまだできていない。

**(障害保健福祉課)**

障害者施設では世の中の状況に逆行し、すべてを受け入れるようお願いしている。  
授産所では仕事自体が減り、売る場所や提供できる場所もない状態。国が補助金を出して補てんする動きは出ている。

**(包 括)**

相談件数が増え、暴力や虐待に関する相談が増えている。  
サービス事業者やケアマネにアンケートし、サービスが中止になったら何が困るかを聞いたところ、お風呂が困る人はケアマネが把握しているだけで 200 人居ることがわかった。アンケートの結果を見ながら、地域の人たちを巻き込んで仕組みが作れたらと思う。

**(自治会)**

コロナの影響で班長さんが顔を合わせたことがない住民も居り、自治会費用も回収できないお宅がある。  
この状況が長期になると、今の状況が当たり前になっていき、これまでの繋がりが希薄になってくる。  
オンライン飲み会などではマスクを外せるが、マスクをつけた状態が当たり前になってきている。

**(社 協)**

コロナの特例貸付は、3月下旬から現在までで、北区だけでも約 160 件の申請があった。外国人の申請も多い。返済の時期が来たとき、困る人が多くいるのではないかと思う。

**(まとめ)**

人と人とのつながりを大切にしてきた活動をどう存続していくのか。  
これからはコロナとの共存を考えていかなければならない。

7. その他

次回開催日程について

8. 閉 会

今 後 の  
見 通 し 等

新型コロナウイルスの状況が見通せない中、これまで続けてきた住民同士の助け合い支え合い活動を一部停止したり、中止するような状況が今後も長く続くという事を念頭において、人と人との繋がりを大切に、地域で行われてきた活動を途絶えさせることなく継続していくためにはどうしたらいいか、住民のご意見を十分に聞いて協議体委員と情報を共有し、意見交換を続け考えていきたい。

次回会議予定：新型コロナウイルスの状況を踏まえ、令和2年中に1回、来年1回開催。

